

平成23年版

松江市観光白書

【資料編】

平成 24 年 3 月

松 江 市

目 次

【本編】

I. 観光動向

1. 観光入り込み客数	1
2. 宿泊客数	1
3. 外国人入り込み客数	1
4. 月別観光入り込み客数	5
5. 観光施設別観光入り込み客数	6
6. 観光施設別観光入り込み客数の推移（他市町村含む）	7
7. 市営駐車場利用状況	8

II. 観光施策

1. 総論～「松江市観光振興プログラム」～	10
2. 観光誘致宣伝	11
3. 観光イベントの実施	12
4. 観光地整備（観光サービス）	15
5. 広域観光の推進	17
6. 文化振興事業の実施	19
7. 国際観光の推進	20
8. 松江市歴史館運営事業	22

III. 観光関係団体

1. 松江市	24
2. （財）松江市観光開発公社	26
3. （社）松江観光協会	29
4. 松江開府400年祭推進協議会（開府400年祭事業）	32
5. その他関係団体	36

【資料編】

1. 主な観光資源	37
2. コンベンション施設	47
3. 交通機関	48
4. 景観対策	50
5. 松江市観光関係年表	52
6. 松江市観光関係事業補助金など	76

IV. 資料編

1. 主な観光資源

(1) 自然系資源

■国立公園

名 称	主な観光資源	概 要
大山隠岐 国立公園	加賀潜戸 多古七ツ穴 北浦海岸 (松江市に係するもののみ掲載)	<ul style="list-style-type: none"> 公園区域は大山から隠岐島に及び大変広範囲からなる。 島根半島部は東側が沈降海岸、西側が隆起海岸となっており、出入りの多い複雑な海岸線に、断崖、洞門、洞窟等が続く優れた景観を呈している。 昭和11年2月1日指定 公園区域 35,053ha

■県立自然公園

名 称	主な観光資源	概 要
宍道湖北山 県立自然公園	宍道湖 枕木山 華蔵寺 (松江市に係するもののみ掲載)	<ul style="list-style-type: none"> 日本で第7番目の大きさをもつ宍道湖、その北側を東西に走る島根半島北山山系の嵩山、枕木山、朝日山などからなっている。 区域内には華蔵寺などの文化財がある。 昭和39年4月17日指定 公園区域 10,618ha

■湖

名 称	所在地	交 通	周囲の延長 (面積)	水 深	概 要
宍道湖	松江市 出雲市 斐川町	JR松江駅 徒歩10分	約45km (79.1Km ²)	3~6m	<ul style="list-style-type: none"> 松江市の西にひろがる湖で、昔から夕景の美しさで名高い。海水の少しまじった汽水湖で魚介類が豊富。 全国で7番目に大きい湖。 老松の中に神社と鳥居があり、夕景の美しさで有名な嫁が島(面積0.27ha)がある。
中海	松江市 安来市 東出雲町	JR東松江駅 徒歩5分	約83km (86.2Km ²)	最大14m	<ul style="list-style-type: none"> 宍道湖と日本海を結ぶ湖で、中央にボタンで有名な大根島がある。 全国で5番目に大きい湖。

■温泉

名 称	所在地	温度	泉 質	効 能
松江しんじ湖温泉	松江市千鳥町	77.0℃ ～ 81.5℃	ナトリウム－塩 化物・硫酸塩泉	神経痛、慢性皮膚病、 慢性消火器病
玉造温泉	松江市玉湯町玉造	50.0℃ ～ 72.0℃	硫酸塩 塩化物泉	リュウマチ、胃腸病、 皮膚病
八雲温泉	松江市八雲町熊野	43.0℃	含弱放射能・ ナトリウム、 カルシウム・ 硫酸塩泉	神経痛、筋肉痛、五十肩
きまち温泉	松江市宍道町上来待	15.0℃	アルカリ性 硫黄鉱泉	皮膚病、慢性リュウマチ、 神経痛
鹿島多久の湯	松江市鹿島町北講武	50.5℃	ナトリウム・塩 化物・硫酸塩泉	神経痛、関節痛、 動脈硬化症、婦人病
きまち湯治村 「大森の湯」	松江市宍道町上来待	32.0℃	アルカリ性 単純泉	神経痛、運動麻痺、 疲労回復

(2) 歴史的資源

■神社・仏閣

名 称	所在地	交 通	祭神・例祭・ 神事・芸能	創建・建 造・構造	概 要
神魂神社	松江市大庭町	JR松江駅 バス20分 徒歩10分	主祭神：伊弉冉尊 例祭(10月18日) 御釜神事 (12月13日)	古 代	現存する大社造りの社殿のうち最も古く国宝。巨大な自然石を積み上げた石段といい古代出雲の神々の里らしいたたずまいを見せる。
八重垣神社	松江市佐草町	JR松江駅 バス30分	祭神：素盞鳴尊、 稲田姫 身隠神事(5月3日)	古 代	本殿は大社造り。平安末期の板絵神像は重文。鏡の池は良縁を願う若い女性に人気がある。
六所神社	松江市大草町	JR松江駅 バス20分 徒歩20分	例祭(10月15日)	奈良時代	かつての出雲国総社。広い境内に本殿、同拝、拝殿などがあり、岡田山古墳の出土品も収められている。

名 称	所在地	交 通	祭神・例祭・ 神事・芸能	創建・建 造・構造	概 要
平浜八幡宮 (武内神社)	松江市八幡町	JR東松江駅 徒歩10分	武内神社例祭 (8月31日)	大和時代	八幡宮は菅田別命、武内神社は武内宿禰を祀る。長寿の神として近隣の尊崇が厚い。最近は交通安全祈願をする人も多い。
松江神社	松江市殿町 城山公園内	JR松江駅 バス10分 徒歩5分	祭神：初代藩主 松平直政 例祭(5月5日) (11月5日)	1875年	昔は西川津にあり楽山神社とあったが、明治32年現在の地に移された。
佐太神社	松江市鹿島町 佐陀宮内	JR松江駅 バス30分	主祭神：佐太大神 例祭(9月25日)	古 代	出雲大社に次ぐ出雲二の宮と呼ばれている。本殿は三殿並立という珍しい大社造りで、国の重要文化財に指定。
美保神社	松江市美保関 町美保関	JR松江駅 バス70分	祭神：三穂津姫命 事代主神	1813年 再建	本殿は大社造りを2棟並べて装束の間でつないだ「美保造り」で、国の重要文化財に指定。
熊野大社	松江市八雲町 熊野	JR松江駅 バス30分 徒歩5分	祭神：伊邪那伎日 真名子 加夫呂伎熊 野大神櫛御 氣野命	鎌倉時代	「出雲国風土記」によると「大社」と呼ばれるのは熊野大社と出雲大社の二社のみで、熊野大社が上位であったとされる。
玉作湯神社	松江市玉湯町	JR玉造温泉 駅 バス10分	夏祭り(7月15日) 例大祭(10月10日)	古 代	温泉と勾玉の神が奉られる「出雲国風土記」に記載のある古社。触れて祈れば願いが叶うと古代から伝えられている「願い石」がある。
揖夜神社	松江市東出雲 町揖屋	JR揖屋駅 徒歩5分	穂掛祭(8月28日)	古 代	『日本書紀』に言屋社として登場し、出雲大社の建立に関わったと言われる神社。黄泉の世界と縁深い神社として中央でも重視された。
阿太加夜神社	松江市東出雲 町出雲郷	JR揖屋駅 バス10分	松江城山稻荷神社 式年神幸祭「ホー ランエンヤ」(10年毎 開催(5月))	古 代	意宇川のほとりに「有」の者門を持つ大社づくりの本殿が拜まれる神社。境内には8世紀中頃の出雲国司であった門部王が奈良の都への望郷を募らせて詠んだ歌の碑が建立されています。

名 称	所在地	交 通	祭神・例祭・ 神事・芸能	創建・建 造・構造	概 要
月照寺	松江市 外中原町	JR松江駅 レライン 25分	茶筌供養(4月下旬)	1664年 改修	松江藩主松平家の菩提寺で初代から九代目までの墓所。廟門は各時代の特徴を反映している。
天倫寺	松江市堂形町	JR松江駅 バス15分 徒歩15分		1611年	堀尾吉晴が祈願所として創建した。境内には重要文化財の青銅の朝鮮鐘があり、細密精巧な彫刻と音のいいことで有名
普門院	松江市北田町	JR松江駅 バス12分 徒歩5分	夏祭り (7月14～15日)	江戸時代	松平氏の祈願所として栄えた天台宗の寺。往時の面影をしのぶ茶室観月庵は有名。
華蔵寺	松江市枕木町	JR松江駅 車40分	華蔵寺例祭 (5月8日)	825年	枕木山の山頂近くにある臨済宗の古刹。かつて11坊を数え隆盛を極めた。薬師如来座像は国の重要文化財。
円成寺	松江市栄町	JR松江駅 バス10分 徒歩3分	筆供養(11月3日) 堀尾祭(11月6日)	1596年 ～ 1614年	堀尾三代の菩提寺で、忠晴の木像をはじめ堀尾氏ゆかりの遺品がある。
報恩寺	松江市玉湯町	JR玉造温泉 駅 徒歩20分		724年 開基	宍道湖そばの小高い丘に建ち藩政時代には松江城の裏鬼門にあたり祈願寺として崇敬されていた。木造十一面観音立像は、高さ4.26mの長谷寺式の大作は県内最大。室町末期(1538年)、京都の仏師康運の作。昭和43年島根県指定文化財。堀尾忠氏の墓碑が建設されている。

■ 記念碑・墓碑等

名 称	所在地	交 通	概 要
小泉八雲記念碑	松江市千鳥町 千鳥南公園内	JR松江駅 バス15分	碑は八雲の愛した宍道湖に向かって建つ。「神々の首都松江」の一文が日英両文で刻まれている。
源助供養碑	松江市白湊本町 松江大橋南詰	JR松江駅 徒歩10分	松江大橋架橋の際、人柱として生き埋めにした足軽源助を供養するために建立された。
雷電為右衛門碑	松江市外中原町 月照寺境内	JR松江駅 レクリン25分	天下無敵の力士として知られる雷電為右衛門は、松平不昧公のお抱え力士で手型を彫った碑は藩主の廟所がある月照寺内に建つ。
天隆院寿蔵碑	松江市外中原町 月照寺境内	JR松江駅 レクリン25分	小泉八雲の怪談に登場する、大亀の背に乗った石碑は、六代松平宗衍(むねのぶ)の寿蔵碑
青柳楼の大灯籠	松江市灘町 白湊公園内	JR松江駅 徒歩15分	幕末に藩の窮状を救った玄丹お加代ゆかりの通称「お加代灯籠」で、宍道湖を行きかう船の灯台の役を果たした。
岸清一立像	松江市殿町 県庁前庭	JR松江駅 バス10分	法曹界の権威者であるとともにわが国体育競技界の育ての親である岸清一の立像
若槻禮次郎胸像	松江市殿町 県庁前庭	JR松江駅 バス10分	慶応2年松江に生まれ、大正15年と昭和6年の2回民政党を率いて総理となった若槻禮次郎の胸像
高浜虚子句碑	松江市北堀町 小泉八雲旧居内	JR松江駅 バス15分	俳人高浜虚子が松江を訪れたのは昭和7年の秋、句碑には「くはれもす 八雲旧居の秋の蚊に」と刻まれている。
名勝御津御島記念碑	松江市鹿島町 御津御島	JR松江駅 バス45分	大正15年に、松陽新報社主催で行われた山陰十景の一般投票で1位になったことを記念して建立された。碑には、当時の総理大臣若槻禮次郎の書が刻まれている。
増田涉先生顕彰碑	松江市鹿島町 鹿島文化ホール前	JR松江駅 バス40分	松江市鹿島町片句出身で、中国の文豪魯迅と親交があり、また、多くの魯迅作品を翻訳し、日中友好に貢献した増田涉の功績を顕彰する碑。
清原太兵衛紀功碑	松江市鹿島町 さいのかみ公園	JR松江駅 バス40分	宍道湖の治水対策のために運河佐陀川を開削した太兵衛翁の功績を記した記念碑。
松平直政公銅像	松江市殿町 県庁前庭	JR松江駅 バス10分	松平家初代の直政公は、富国・安民・質素・節財等の大綱を示し、藩政の基礎を固めた。66年ぶりに再建された。

■茶室

名 称	所在地	交 通	築造期	概 要
明々庵	松江市 北堀町	JR松江駅 バス15分	1779年	かつては松江藩家老有沢家の本邸にあったが、維新後転々として現位置に復元された。
菅田菴	松江市 菅田町	JR松江駅 バス20分 徒歩15分	1792年	七代藩主松平治郷の指図で、家老有沢家の山荘に建てられた。国の重要文化財
観月庵	松江市 北田町	JR松江駅 バス12分 徒歩5分	江戸中期	普門院の境内にあり、七代藩主松平治郷と親交が厚かった住職観月庵恵海が開いたもの。小泉八雲もここでお茶の手ほどきをうけた。

(3) 文化・生活資源

■味覚・料理・特産

品 名	概 要
出雲そば	出雲そばは甘皮を一緒にひくため色は黒いが香りが高く、コシが強い。食べ方の代表は割子そば。
宍道湖七珍	宍道湖でとれる魚 シラウオ、アマサギ、シジミ、スズキ、ウナギ、コイ、モロゲエビ
ぼてぼて茶	泡立てた塩番茶の中に、ご飯、細かく刻んだ煮豆、佃煮、漬物などを入れ、混ぜ合わせて食べる。
あご野焼(かまぼこ)	山陰沿岸の日本海で獲れるトビウオを主原料として、地酒・みりんで味付けした野焼かまぼこ。
茶	松平不味公の時より松江は茶処として名高く、深い味わいと香り高い銘茶を製造している。
津田かぶ漬	津田かぶを生干ししてから糠漬けにし、重石をして2週間で食べごろになる。あざやかな赤紫色と独特の甘味がある。
和菓子	松江は、菓子処として有名であり、数多くの和菓子が製造されており、中でも、山川・若草などが有名である。
地 酒	市内には、3つの酒造元がある。 銘柄：李白・国暉・豊の秋
西条柿	本庄地区、畑地区（東出雲町）で盛んに作られている。
ほし柿（西条柿）	畑地区（東出雲町）の特産品。戦国時代から伝わっており、色藍、大きさ、味の三拍子が揃い、糖度は日本一と言われている。乾燥場に吊るされた柿すだれの景観が有名である。
板わかめ	わかめをすだれ等の上で板状に整形して乾燥したもの。 「めのは」とも呼ぶ。
雲州人参 (朝鮮人参)	大根島（八束町）の特産。 江戸時代に栽培が始まり、松江藩の財政を支えた。高品質で海外市場でも高い評価を得ている。

■島根県ふるさと伝統工芸品

分類	名称	製造者	住所	概要
石工品	出雲石灯ろう	来待石灯ろう協同組合 松江石灯ろう協同組合	松江市宍道町 東来待1644-1 松江市 黒田町86	宍道町来待を中心に産出する来待石を使った石工は松江城築城ごろから隆盛をみるようになった。 灯ろうは比較的安価で苔のつきが早く、庭園になじみやすい。
漆器	八雲塗	島根県八雲塗振興会	松江市 殿町191	優雅なうるし絵の上に天然透漆を幾度もぬり重ねて磨き上げ、年数がたてばつほど文様が浮き出てくるのが特徴。
陶器	楽山焼	長岡住右衛門	松江市 西川津町2512	300年以上の歴史があり、いろぼ釉による水さし、香合、抹茶茶碗等、茶陶の代表窯として有名。
	袖師焼	尾野 晋也	松江市 幸町803-13	出雲の土と伝統を巧みに生かして、簡素で使い良く、丈夫な作品を特徴としている。
	布志名焼	雲善窯（土屋 幹雄） 雲善窯（舟木 康定） 船木窯（船木 伸児） 湯町窯（福間 琇士）	松江市玉湯町	江戸中期に開窯したといわれ、江戸時代には松江藩の御用窯として栄え、明治以降は布志名の特徴である黄釈を使った製品が全国的に流行し海外にも多く輸出された。その後、民芸運動の高まりの中で作風を変えていった。
毛筆	松江筆	松江毛筆授産場	松江市 内中原町 190-4	江戸時代初期につくり始められたといわれる。軸の付け根から先端まで鋭い円錐形で、穂にふくらみのないことが特徴で、いつも同じ太さに書けるので使いやすい。穂はヒツジ、タヌキ、イタチなどの良質な毛を使って仕上げている。
人形玩具	松江姉様	松崎 昭子	松江市 中原町 322	江戸時代から伝わる姉様人形のの一つといわれ、島田・桃割れ・おかっぱの3種1組の和紙人形。表情がおだやかで気品がある。
	松江和紙てまり	絹川 ツネノ	松江市 大庭町 1614	手まりに出雲民芸和紙を貼り、刺しゅう糸でかがり、ちぎり絵をしたもの。図柄は花、干支などで鑑賞用、縁起物、厄除けとして用いられる。

分類	名称	製造者	住所	概要
木竹品	松江藩 籐細工	長崎 誠	松江市 大庭町 1614	江戸時代末期から作り始められたといわれ、花かごや茶道具の炭斗(すみとり)などに編まれ、全国的にも珍重されている。
	仏像彫刻	川島 康文	松江市 内中原町 246-2-202	桧や楠などの原木から仏像造りに適した部位を見分け、一木造や寄木造等の伝統的な手法を用いて仏像を製作する。制作者は京佛師に師事し、こうした伝統的な技法を受け継ぎ、高い技術に裏付けられた製作活動を展開している。
和紙	出雲民芸紙	出雲民芸紙工房	松江市 八雲町東 岩坂1733	出雲民芸紙は、その種類の多さが特徴。はがき・名刺・便箋・短冊・色紙・記録紙と様々。用途によって原料や漉き方が変わり、やわらかい風合いと丈夫で長持ちが魅力。
貴石細工	出雲めのう 細工	有限会社 伝承館	松江市 玉湯町湯 町1755	玉湯町にある花仙山から産出する青めのうは、古代から勾玉などに加工されており、現代も装飾品として珍重されている。

■郷土芸能 [松江市郷土芸能文化保護育成協議会 (S49.3 発足) 参加の民俗芸能団体]

団体名	団体名
伝承ホーランエンヤ馬漕権伝馬保存会	神魂神社禱家神事
魚瀬左吉兆とんど行事	左義長しゃぎり保存会
平濱八幡宮トーレトーレ御神事	八重垣神社身隠し神事
松江鑿行列保存会	佐陀神能保存会
秋鹿大日堂御頭行事保存会	佐太古伝神事保存協会
亀尾神能保存会	美保神社神事保存会
伝承大井ホーランエンヤ保存会	関乃五本松節保存会
大海崎伝承ホーランエンヤ保存会	熊野大社神事・八雲楽保存会
伝承ホーランエンヤ矢田保存会	宍道町角道協会
福富ホーランエンヤ保存会	島芝翫節保存会

(平成24年3月末現在)

(4) その他の資源

■博物館・美術館・資料館等

名 称	所在地	交 通	概 要
島根県立八雲立つ 風土記の丘 展示学習館	松江市 大庭町	JR松江駅 バス20分 徒歩5分	風土記の丘地内から出土した石器時代から縄文・弥生・古墳時代を経て律令時代に至るまでの資料を展示。
島根県立美術館	松江市 袖師町	JR松江駅 徒歩15分	特別展以外常設展示を行っている。美術館から宍道湖の夕日が見られ、日没の時間に合わせて開館時間が延長となる。
田部美術館	松江市 北堀町	JR松江駅 バス15分	田部家25代にわたるコレクションの中から、特に茶道関係のものを選んで展示。
小泉八雲記念館	松江市 奥谷町	JR松江駅 バス15分	小泉八雲が日頃愛用した遺品200点を含む約1,000点を収蔵、常時約200点を展示。
松江郷土館 (興雲閣)	松江市 殿町 城山公園内	JR松江駅 バス10分 徒歩5分	江戸末期から昭和まで約100年間の歴史・民族資料・工芸品などの郷土資料を展示。
出雲かんべの里	松江市 大庭町	JR松江駅 バス20分 徒歩10分	〈民話館〉マジックビジョンによる「耳なし芳一」の上演や、語り部による、いろりを囲んでの民話や神話の紹介 〈工芸館〉5つの工房があり作家による工芸品の制作過程の見学や作家の指導による体験学習(要予約)が可能
和紙のはくぶつかん 安部榮四郎記念館	松江市 八雲町	JR松江駅 バス30分	人間国宝の安部榮四郎のコレクションを展示する記念館。国内外の紙や和紙製品、そして、生前親交のあった棟方志功、河井寛次郎などの作品も常設。
菟古館	松江市 宍道町	JR宍道駅 徒歩10分	代々の木幡家当主が集めた書画や陶磁器などの古美術を展示しています。松平不昧公のお留屏風として知られる「源平合戦図」などの貴重な品々が収納。
来待ストーン	松江市 宍道町	JR来待駅 徒歩10分	来待地区でしか産出されない「来待石」は、加工しやすいという石の特性を活かし、燈籠や住宅健在などに用いられる。その歴史や文化を紹介。
メテオプラザ	松江市 美保関町	JR松江駅 バス45分	H4.12に落下してきた美保関いん石の保存展示や宇宙関連映像の上映。
松江市立出雲玉作資料館	松江市 玉湯町	JR玉造温泉 駅 バス10分	常設展では、「古代出雲の玉作り」を柱に「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」などが展示される全国唯一の資料館。

■キャンプ場

名 称	所在地	交 通	管理者	開設期間	施 設
忌部自然休養村 キャンプ場	松江市 西忌部町	JR松江駅 車30分	忌部開拓 農業協同組合	7月10日 ～ 9月20日	テントサイト48 炊事場有り ファイヤー場1か所 トイレ、シャワー
松江市宍道ふるさと 森林公園	松江市 宍道町	JR松江駅 車30分	(財)宍道湖西岸 森と自然財団	通年	テントサイト8、林間サイト4 オートサイト15、フリーサイ ト、ケビン2 共同炊事場有り ファイヤーサークル1か所 トイレ
天空の岬 マリナーパーク多古鼻	松江市 島根町	JR松江駅 車30分	(財)島根町 地域振興財団	通年	フリーテントサイト3ヶ所 キャビン15 炊事場有り トイレ、管理棟
小波キャンプ場	松江市 島根町	JR松江駅 車30分	小波区	7月1日 ～ 8月31日	テントサイト72 炊事場有り トイレ、シャワー、管理棟 バーベキュースペース
桂島キャンプ場	松江市 島根町	JR松江駅 車25分	加賀観光協会	7月1日 ～ 8月31日	テントサイト30 炊事場有り トイレ、管理棟

■遊覧船

名 称	所在地	乗船場	内 容
宍道湖遊覧 「はくちょう号」	松江市東朝日町	第1乗船場 松江市東朝日町 第2乗船場 松江市伊勢宮町	宍道湖を約1時間か けて周遊する。
堀川遊覧 「ぐるっと松江堀川めぐり」	松江市黒田町	松江堀川ふれあい広場 カラコロ広場 大手前広場	堀川を約50分かけて 周遊する。
矢田の渡し	松江市朝酌町	松江市朝酌町	大橋川を就航する渡 船
潜戸遊覧船	松江市島根町	マリンプラザしまね	加賀の潜戸までを約 50分かけて4月～10月 周遊する。

2. コンベンション施設

主会場の収容人員が100名以上ある会議用、コンベンション用施設は、現在38ある。

これらは、公共施設以外には、ホテル、旅館等であり、いずれも主会議場のほかに、いくつかの中小会議場を併設している。

平成5年秋、県立産業交流会館（くにびきメッセ）がオープンし、各種大規模大会が可能となり、平成12年4月には松江テルサがオープンし、JR松江駅前の新しいシンボルとなった。

名 称	所在地	交 通	内 容
島根県立産業交流会館 （くにびきメッセ）	松江市学園南一丁目2 番1号	J R松江駅 徒歩10分	大展示場（5,000席以上） 多目的ホール（650席以上） 小ホール（300席以上） 国際会議場 （四か国語同時通訳設備） 中小会議室（7室） 商談室（11室） 特別室 レストラン

主会場収容席数別会議施設数

収容席数（席）	箇所数	備 考
2,000席以上	2	総合体育館、くにびきメッセ
1,999～1,000席	2	県民会館大ホール、松江テルサ
999～800席	1	市総合文化センター
799～500席	3	松江卸センター、ホテル一畑ほか
499～400席	2	玉造グランドホテル長生閣ほか
399～300席	7	
299～200席	7	
199～100席	14	
計	38	

3. 交通機関

(1) 鉄 道

J R 西日本・山陰本線と一畑電鉄（松江－大社・出雲）がある。

(2) 道 路

大橋川・宍道湖南岸に国道 9 号が、美保関町境水道大橋から市内中心部を通過して宍道湖北岸に国道 431 号が、国道 9 号相生町から南へ国道 432 号が走っている。

平成 24 年 3 月 24 日の松江だんだん道路の一部開通により、縁結び大橋を加えた 6 つの大橋により、大橋川等により隔てられた市の南北が結ばれているが、市街地中心部の道路は、江戸時代の面影を残しており、幅員が狭く「鍵型」の交差点も多く残っている。

平成 4 年 12 月に米子自動車道全線開通、平成 9 年 3 月に岡山自動車道全線開通となった。

また、平成 13 年 3 月 24 日に山陰道（安来～宍道間）が開通、平成 15 年 3 月には松江自動車道（宍道～三刀屋木次間）が整備され、広島、四国圏方面との時間的短縮がはかられた。平成 19 年 11 月に斐川、平成 21 年 11 月には、出雲まで西方に路線が延長した。

平成 22 年 11 月 27 日に尾道松江線（尾道～世羅間）が開通し、また、平成 24 年 3 月 24 日には、松江自動車道（吉田掛合～三刀屋木次間）が開通し、山陽方面・四国圏方面との時間的短縮が更にはかられている。

(3) 長距離バス（平成 24 年 3 月現在）

- ・松江－東京 [渋谷]（1 日 1 往復 約 10 時間 35 分）
- ・松江－大阪 [阪急梅田・新大阪]（1 日 8 往復 約 4 時間 40 分）
- ・松江－神戸 [三宮]（1 日 4 往復 約 4 時間 20 分）
- ・松江－福岡 [天神]（1 日 1 往復 約 9 時間 10 分）
- ・松江－広島（1 日 14 往復 約 3 時間 30 分）
- ・松江－岡山（1 日 7 往復 約 3 時間 15 分）
- ・松江－京都（1 日 4 往復 約 4 時間 55 分）
- ・松江－名古屋（1 日 1 往復 約 9 時間）
- ・松江－福山（1 日 1 往復 約 4 時間）

(4) 航 空（平成 24 年 3 月現在）

市内から出雲空港と米子空港は、ほぼ等距離にある。

出雲空港（バス 30 分）	－	東 京	J A L	1 日 5 便	（約 90 分）
		大 阪	J A C	1 日 6 便	（約 60 分）
		福 岡	J A C	1 日 2 便	（約 70 分）
		隠 岐	J A C	1 日 1 便	（約 30 分）

米子空港（バス 45 分）	－	東 京	A N A	1 日 5 便	（約 80 分）
（車 45 分）		韓国ソウル	アジアナ	週 3 便	（約 100 分）

(5) 海 路

美保関七類・境港から隠岐島へ隠岐汽船が高速船、フェリーを運航している。

- ・七類港（バス40分）－ 隠岐（高速船レインボー 約1時間10分）
（フェリー 約2時間20分）
- ・境 港（バス45分）－ 隠岐（高速船レインボー 約1時間20分）
（フェリー 約4時間10分※）

*所要時間は、西郷港までの時間とし、※印は西ノ島経由の時間とする。

(6) 駐車場（市営）

- ・松江駅前地下駐車場（収容台数 普通車198台）
- ・大手前駐車場（収容台数 普通車 48台 バス 8台）
- ・城山西駐車場（収容台数 普通車136台 バス28台）
- ・白潟駐車場（収容台数 普通車135台）
- ・くにびき駐車場（収容台数 普通車233台）
- ・松江駅南口駐車場（収容台数 普通車 36台）

観光交通手段

(1) 観光ループバス（ぐるっと松江レイクライン）[松江市交通局]

市内の主要観光施設を結ぶ観光ループバスで20分間隔で運行している。

(2) 観光タクシー

市内各社により実施し、希望にあわせた時間単位の市内コース及び近郊コースがある。

(3) レンタカー

JR松江駅周辺に5社ある。

4. 景観対策

(1) 本市における独自条例に基づくこれまでの取り組み

昭和 48 年に独自の条例である「松江市伝統美観保存条例」により「塩見縄手地区」を、昭和 50 年には「普門院外濠地区」を、平成 11 年には「城山内濠地区」を松江固有の伝統美観を持つ地区として『伝統美観保存地区』に順次指定し、門・塀の復元、堀沿いの松の移植・補植など観光資源となる伝統的町並み景観の保存を図ってきた。

平成 5 年には島根県において宍道湖周辺を景観形成地域に指定し、水都・松江の象徴である宍道湖の景観に対する規制誘導を行ってきた。

平成 6 年には「松江市都市景観条例」を制定し、松江市全域において市民共有の財産である重要な景観資源に対する配慮及び周囲の景観との調和を図るため、景観形成上の影響が大きい大規模な建築物や工作物等の建設行為等について必要な措置を定め、景観行政を推進しながら観光資源などの保存に努めてきた。

(2) 景観法に基づく取り組み

平成 16 年に「景観」そのものの整備・保全を目的とするわが国初めての総合的な法律である「景観法」が制定されたのを受け、松江市は、平成 17 年 5 月 1 日にこの「景観法」に基づく景観行政団体となり、市民、事業者、行政がそれぞれの責務を積極的に果たしながら、美しく風格ある松江固有の景観を守り（保全）、開発と保全との調和のとれた快適で安全な魅力あるまちを育て（創造）、市民共有の財産として後世に伝える（継承）ことを目的として、『松江市景観計画』を策定した。また、松江市伝統美観保存条例及び松江市都市景観条例並びに島根県「ふるさと島根の景観づくり条例」を踏襲し、さらに、法に定められている委任する条項を付加して、新たに「景観法」に基づく条例として『松江市景観条例』を制定し、個性豊かな景観づくりを行っていくことにより、観光資源などの保存を図っている。

また、屋外広告物についても、景観上影響の大きい要素であることから、平成 20 年に松江市の地域特性や土地利用に即した屋外広告物の基準を定めた『松江市屋外広告物計画』を策定し、平成 21 年 4 月から『松江市屋外広告物条例』を施行している。景観行政団体として景観に係わる 2 つの条例を一体的に運用することにより、松江らしい良好な景観づくりを推進している。

(3) 松江市景観計画の構成

松江市景観計画は、「景観法」に基づく景観形成の方針や基準などを示すものであり、松江市全域を「景観計画区域」として定め、緩やかな規制・誘導を行うとともに、松江城周辺や宍道湖周辺など重点的に景観形成を図るべき区域を「景観計画重点区域」として定め、よりきめ細やかな基準により規制・誘導を図るものである。

①松江市景観計画区域

景観形成上の影響が大きい大規模な建築物や工作物等の建設行為等について、市民共有の財産である重要な景観資源に対する配慮及び周囲の景観との調和を図るために必要な措置を定め、松江市全域において良好な景観を保全、創造、継承することとしている。

②伝統美観保存区域

伝統美観は、古くからの住民生活や政治、経済、産業、文化の中で育まれてきたものであり、松江市民の誇りや愛着を育むかけがえのない財産である。また、このような景観は住む人々にとって活気

と活力を与える潜在的な力となり得るものである。

「塩見縄手地区」、「普門院外濠地区」、「城山内濠地区」からなる伝統美観保存区域は、武家屋敷や小泉八雲旧居などの江戸時代の伝統的な様式の建築物や堀川、城山の緑など様々な景観要素が絡み合っていて美しい景観を形成しているとともに、落ち着きや風格を醸し出す、市民にとって誇れる区域である。なかでも、「塩見縄手地区」は都市計画決定による景観地区に指定し、建築物の形態意匠や高さなどについて、より強制力をもった規制を行っている。

今後も、市民や訪れる人々の心をひきつける景観形成を図り、松江固有の歴史・文化的資産として後世に継承していくよう更に取り組みを推進していく。

③宍道湖景観形成区域

宍道湖をとりまく地域固有の伝統的な人文景観、湖水と調和が図られた都市景観、及び湖面に映る豊富な緑と夕日や朝霧などの自然景観などが調和した、魅力的かつ後世に継承すべき宍道湖景観を保全、創造することにより、宍道湖に対する市民の誇りや愛着を深め、宍道湖周辺地域のまちづくりの向上発展に寄与することを目的として、良好な景観形成を推進している。

④北堀町景観形成区域

城下町松江の歴史、文化や風情が息づく北堀らしい景観を守り、育み、次世代に継承する景観まちづくりを実践することにより、生活環境の充実及び観光まちづくりへの展開を図り、住民の地域に対する誇りと愛着を醸成することを目的として良好な景観形成を推進している。

⑤景観計画に追加する区域

今後も、良好な景観の「保全」・「創造」・「継承」が特に必要な区域について、住民の合意形成を図ったうえで、きめ細やかな景観形成基準等を定め、景観計画重点区域に随時追加していく。

松江市景観計画の構成

松江市景観形成基本計画（序章）

松江市の景観特性や景観形成の方針、推進施策などを示すマスタープラン

松江市景観計画区域（1章）

松江市全域において、景観形成上影響が大きい大規模な建築物や工作物の建設行為などに対し、緩やかな規制・誘導を行う

（景観計画重点区域）

※きめ細やかな景観形成基準を設け、重点的に景観形成を図る区域

伝統美観保存区域（2章）

松江城周辺など良好な伝統的景観（伝統美観）を有する区域

宍道湖景観形成区域（3章）

宍道湖景観の保全を図るべき宍道湖周辺の区域

北堀町景観形成区域（4章）

城下町の趣が感じられる町並みを保全すべき北堀町の区域

※景観計画に追加する区域（5章、6章・・・）

5. 松江市観光関係年表

松 江 観 光 関 係 年 表

時代	日 本 の 動 き	松 江 の 動 き
奈良時代	710 平安京に都を移す	733 「出雲風土記」ができる。意宇・島根・秋鹿の郡、大草・山代・野城・黒田・朝酌・生馬・法吉の郷の地名が現れる
	794 平安京に都を移す	741 出雲国分寺・国分尼寺建立 773 円通寺(竹矢)建立 825 智元上人が華蔵寺(枕木山)建立
鎌倉時代	1192 源頼朝が鎌倉幕府を開く	1200 佐々木高綱が善光寺(浜乃木)建立 1249 大社文書に巨曾志郷・国屋郷・長海新荘・津田郷・長江郷・乃木保・乃白保・乃白郷・比津村・忌村保・持田荘・末次保・大野荘・竹矢郷・長見本荘・枕木保などの地名と地頭名があらわれる
	1333 鎌倉幕府がほろぶ	1345 円通寺を出雲の安国寺とする 1346 神魂神社の本殿造営
室町時代	1392 南北朝が統一される	1392 京極高詮が出雲守護職となり、尼子持久が守護代として富田城に入る(1935) 1521 尼子経久、山陰・山陽11ヶ国の太守となる 1562 毛利元就、尼子氏との持久戦のため洗合城を築く 1569 山中鹿介、尼子氏再興を図り真山城にたてこもる
	1573 室町幕府が滅ぶ 1576 織田信長が安土城を築く	1595 太閤検地終わる。出雲国の石高18万6000石
安土・桃山時代	1600 関が原の合戦 1603 徳川家康が江戸幕府を開く	1600 堀尾吉晴、出雲・隠岐23万5000石の大名として富田城に入る 1607 松江城起工 1607 カラカラ橋を改架して、松江大橋と称す 1611 松江城竣工、堀尾氏富田城より松江に入る 堀尾吉晴逝去
江戸時代	1614 大阪冬の陣 1615 大阪夏の陣	1615 堀尾忠晴、古志堤を築く 1633 堀尾忠晴没し、堀尾氏三代33年で断絶 1633 瑞応寺を現在地に移し、円成寺と改める 1634 京極忠高、出雲・隠岐国の大名となり、松江へ入る 1635 洪水のため、斐伊川が宍道湖に流れるようになる 1637 京極忠高没し、京極氏一代3年で断絶 1638 松平直政、松本藩主から松江藩主となり隠岐も兼管 1647 城山稲荷、阿太加夜神社へ神幸、ホーランエンヤのはじまりという 1658 直政が桑名より白魚を取り寄せて、宍道湖で養殖する 1664 洞雲寺を大改修し、月照寺に改める

時代	日 本 の 動 き	松 江 の 動 き
江戸時代		1666 直政没し、綱隆襲封。直政の第二子に広瀬3万石、第三子に母里1万石を与え、支藩ができる 1668 古志原に牛馬市を開く。この年大干ばつ 1671 綱隆、楽山山荘を建てる 1673 白濁中町より出火。寺町、和田見の大半焼失 1676 白濁大火。町家89軒、寺院12など焼失 1679 倉崎権兵衛、萩より招かれ楽山焼をはじめめる 1688 白濁大火。町家200軒など焼失 1689 天神川開削完成。当初は新川と称す 1702 大洪水により城下浸水。多数の民家流出 1706 8月出雲地方大風雨 10月出雲地方大地震、倒壊130軒に及ぶ 1711 石橋町より出火。石橋・奥谷・北田町が延焼。士家26軒、町家76軒、寺院1焼失 1716 外中原より出火。国屋村の月照寺等100軒焼失 1717 黒沢長尚「雲陽誌」を完成させる 1720 西川津水湾を開拓し、水田を造成 1721 出雲地方暴風雨、松江城下浸水する
	1732 享保の大飢饉	1747 松平宗衍、小田切備中による藩政改革をはじめめる 1758 松江藩校文明館を母衣町に開校 1767 朝日丹波を起用して、御立派の改革実施。治郷襲封 1770 松平治郷、「むだごと」を著し、茶道改革を提唱 1772 松江大橋をはじめ、城下の土橋を板橋に改める 1787 清原太兵衛、佐陀川の開削を完成 1793 天神裏で雷電一行の大相撲が行われる 1794 治郷の命により、菅田庵改築。向月亭、風呂屋完成 1801 初代長岡住右衛門が楽山焼復興 1804 小林茂重、日光より人参を持ち帰り古志原で栽培する 1806 治郷、江戸大崎で退隠し、不昧と号す 1808 西茶町から出火し、御船屋まで1200軒延焼 1811 人参方を設置 1816 白濁中町より出火、124軒、土蔵2焼失 1818 不昧逝去（68歳） 1825 石橋町大火、142軒焼失。人参方を寺町に移す 1837 灘町より出火、町家751軒、寺院15、神祠1焼失 1852 横浜町より出火、町家537軒、士家700軒、寺院5焼失
	1853 ペリーが浦賀に来る	1862 松江藩が防備のため英国製鉄艦・米国製木艦を購入 1863 末次町に修兵所を設けて、洋式訓練を開始 松江藩校を統合して殿町に文武館を設立

年次	社会の動き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1868 (明元)			西園寺公望が山陰道鎮撫使として松江に来る
1871 (明4)	廃藩置県で7月に松江県となり、11月に島根県となる		
1872 (明5)	9月 新橋～横浜間鉄道開業		
1873 (明6)		6月 松江城で勸業品展覧会を1ヶ月開催	
1874 (明7)			7月 雑賀町大火712戸焼失 松江大橋改修
1875 (明8)		松江城、廃城を免れる。	
1877 (明10)	2月 西南の役起こる	この頃から大橋川・宍道湖に汽船登場 尾野友市、乃木皇子坂に素焼窯を開く (袖師焼の祖)	
1880 (明13)		5月 県勸業展覧場を現博物館付近に建設	
1886 (明19)		茶町の坂田平一、絵師富田湖山らの協力で八雲塗を完成	
1889 (明22)			4月 松江市政施行 (人口約36,000人、全国22位) 勸業展覧場を借り市役所開設
1890 (明23)		8月 ラフカディオ・ハーン来松 松江城、内務省から松平家に返還	
1891 (明24)			3月 釣橋型大橋竣工
1893 (明26)			5月 殿町市庁舎竣工 10月 台風襲来6,649戸浸水
1894 (明27)		11月 ラフカディオ・ハーン離松 3月 歌舞伎座の栄徳座が天満宮内で開業	
1895 (明28)	8月 日清戦争勃発	ラフカディオ・ハーン「知られぬ日本の面影」出版 山陰汽船(株)創設、松江～大阪航路開く	4月 松江電灯(株)設立、点灯数約250
1896 (明29)		2月 ラフカディオ・ハーン日本に帰化、小泉八雲と改名	
1898 (明31)		10月 楽山神社を移し松江神社建立	
1901 (明34)			12月 松江記章を定める
1903 (明36)	山陽線全通	9月 城山に興雲閣落成	
1904 (明37)	2月 日露戦争始まる		
1905 (明38)			2月 和田見大火、焼失160戸、半焼26戸
1908 (明41)		11月 米子～松江間鉄道開通、松江駅開業	
1909 (明42)	8月 韓国併合		
1910 (明43)		11月 松江～宍道間鉄道開通 5月 松江開府300年祭を挙げる	

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1911 (明44)			3月 旧松江大橋開通
1912 (明45)	明治天皇崩御	3月 山陰線出雲今市～京都間開通 4月 一畑軽便鉄道(株)創立 6月 山陰線開通記念の物産共進会開催	
1913 (大2)		4月 一畑軽便鉄道今市～平田間開通 6月 志賀直哉、里美瑛松江に遊ぶ	6月 白潟埋立地完成 7月 初代新大橋(木製)架設
1914 (大3)	8月 第一次世界大戦始まる	大正天皇御大祭を契機に鑿(どう)行列が本格的になる。	
1915 (大4)		5月 駅通りに松江座落成 8月 芥川龍之介松江に遊ぶ	6月 陰陽連絡の自動車道供用開始
1918 (大7)	8月 米騒動		
1919 (大8)		8月 源助供養始まる	10月 公設市場を堅町・母衣町に開設 11月 松江図書館を市営に
1920 (大9)	第1回国勢調査(人口約7,698万人)		
1921 (大10)		菊池寛・久米正雄・吉井勇ら松江へ 5月 有島武郎・秋田雨雀ら山陰に遊ぶ	
1922 (大11)			9月 末次埋立第2次工事完了
1923 (大12)	9月 関東大震災		
1924 (大13)		4月 山陰線全線開通祝賀式 4月 全国土産品展覧会開催	
1927 (昭2)	3月 金融恐慌	10月 松平直政公銅像除幕式 12月 松平家より、城山を松江市に、三の丸を県に寄付	12月 灘町大火、236戸焼失
1928 (昭3)		2月 菅田庵史跡及び名勝指定 4月 一畑電鉄開通、北松江駅竣工 7月 松江城山を城山公園と名づける	
1929 (昭4)	世界恐慌起こる	10月 松江競馬場開場 八雲会結成(八雲25日忌)	4月 市営バス事業を開始
1930 (昭5)		5月 与謝野鉄幹・晶子松江へ	
1931 (昭6)	満州事変起こる	4月 商工祭始まる(後のお城まつり) 8月 松江観光協会発足	5月 末次本町他6町で大火、628戸焼失
1932 (昭7)		10月 第1回松江祭挙行	
1933 (昭8)		4月 隠岐丸初めて松江港に入港	3月 床机山に松江放送局開局

年次	社会の動き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1933 (昭8)		7月 松江～城崎間定期航空開始	
1934 (昭9)		11月 小泉八雲記念館竣工	11月 新大橋通り完成 4月 市公会堂竣工 10月 新大橋竣工 12月 津田村を合併
1936 (昭11)		4月 松江～大阪間定期航空開始	
1937 (昭12)	蘆溝橋事件(日中戦争)勃発	10月 松江護国神社建立	4月 中原大火、252戸焼失 10月 松江大橋竣工
1938 (昭13)			2月 川津村合併
1939 (昭14)	第二次世界大戦勃発	10月 大橋南詰に源助・深田技師供養碑建立	
1940 (昭15)	太平洋戦争始まる	4月 市立観光案内所開設	
1941 (昭16)		8月 小泉八雲旧居史跡指定	11月 朝酌村合併 10月 松江市誌発刊
1943 (昭18)		11月 直政・若槻・岸銅像供出	
1944 (昭19)			8月 豪雨のため浸水家屋789戸
1945 (昭20)			7月 家屋疎開で市庁舎こわす
	8月 ポツダム宣言受諾		
1946 (昭21)	日本国憲法ができる	4月 忌部開拓に開拓団入植	8月 県庁焼き打ち
1948 (昭23)			4月 市立図書館県に移管
		5月 ホーランエンヤ復活	
		9月 貿易と観光博覧会開催	
1949 (昭24)			10月 法吉村合併 6月 国立島根大学創立
		7月 12年ぶりの水郷祭	
1950 (昭25)	朝鮮戦争始まる	5月 第1回松江競輪を開催(28年廃止) 6月 へるん生誕100年祭開催 6月 松江城天守閣の解体修理始まる	8月 白濁大火、焼失222戸
1951 (昭26)	日米安全保障条約調印	3月 松江市国際文化観光都市建設法公布 4月 ホーランエンヤ(陸渡御) 6月 松江市観光文化課が観光課に 6月 松江市文化財保護条例制定 10月 棟方志功松江へ	9月 乃木村・竹矢村合併 4月 大庭村・忌部村合併
1952 (昭27)			11月 松江市教育委員会発足
1953 (昭28)			4月 生馬村・持田村合併
1955 (昭30)		3月 松江城天守閣復元工事完成・お城まつり始まる 8月 古代出雲文化総合調査(出雲国分寺跡発見)	3月 古江村・本庄村合併
1956 (昭31)			12月 県庁舎全焼
1957 (昭32)		10月 松江開府350周年祭	

年次	社会の動き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1958 (昭33)	関門海底トンネル開通		7月 松江～玉造有料道路開通
1959 (昭34)	4月 皇太子明仁親王御成婚	10月 県立博物館開館 松江城多聞櫓竣工	1月 県庁舎完成、一畑百貨店開店 10月 枕木山NHKテレビ放送開始
1960 (昭35)			11月 市制70周年
1961 (昭36)		6月 松江ゴルフ場完成	8月 大野村・秋鹿村合併 6月 市庁舎竣工 中海干拓工事着工
1962 (昭37)		8月 天倫寺温泉源発見 12月 湖北区画整理事業着工	
1963 (昭38)		4月 隠岐・島根半島・三瓶山が大山国立公園に編入 4月 宍道湖・北山県立自然公園指定	山陰地方豪雪（宍道湖凍結） 3月 斎藤市長就任
1964 (昭39)	11月 米・ケネディ大統領暗殺		1月 馬淵鉄工団地埋め立て完了 4月 国立松江高専開校 7月 集中豪雨来襲
	10月 東海道新幹線営業開始 10月 東京オリンピック開幕		
1965 (昭40)		5月 直政300回忌天倫寺で挙行	12月 市議会、再建準備団体指定可決
1966 (昭41)		明々庵復元	11月 市民憲章制定 12月 松江・八束広域行政組合推進協議会発足
1967 (昭42)		8月 宝塚市と姉妹都市提携	7月 松江刑務所、西川津へ移転 11月 中海地区新産業都市に指定
1968 (昭43)		安部榮四郎氏人間国宝指定	5月 長江干拓干陸式 9月 県民会館落成 10月 県立図書館落成
1969 (昭44)		11月 湖北区画整理事業（旅館団地）完成 1月 武家屋敷滝川家より買収 3月 松江郷土民謡館開設（観光協会） 5月 ホーランエンヤ	
	7月 米宇宙船アポロ11号月面着陸	7月 大手前駐車場完成 9月 武家屋敷復元完成	6月 青年センター完成

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1969 (昭44)			11月 市政80周年記念式典
1970 (昭45)	3月 万国博覧会開幕	12月 木幡家住宅重要文化財指定	7月 松江地域広域市町村圏指定 7月 県立武道館落成
1971 (昭46)	沖縄返還協定調印	9月 堀川浄化第1回水入れ替えテスト実施 11月 足立美術館開館 11月 松江市観光開発公社設立 (大手前、武家屋敷を受託、民謡館を継承)	2月 記録的豪雪 4月 枕木有料道路開通
1972 (昭47)	2月 札幌オリンピック開幕 3月 山陽新幹線大阪～岡山開通	11月 松江温泉源掘削 11月 松江国際文化観光都市建設法制定20周年記念式典 3月 松江のキャッチフレーズ「橋といで湯の城下町」に決定 5月 七類から「くにが」就航 5月 連休、松江に20万人山陰ブーム到来(年間450万人で過去最高)	3月 財政再建準用団体指定解除 4月 松江卸団地完成 7月 宍道湖有料大橋完成 7月 80年ぶりの大水害
1973 (昭48)	6月 第1次オイルショック	9月 八雲立つ風土記の丘資料館開館 12月 温泉供給開始、お湯かけ地蔵建立 4月 伝統美観保存条例制定・八雲記念館公社へ委託 4月 松江観光パトロールカー登場	12月 津田街道改修工事完成 7月 34年ぶりの干ばつ
1973 (昭48)		8月 志谷奥遺跡発見 9月 塩見縄手地区を伝統美観地区に指定1,500万円で堀整備	
1974 (昭49)		11月 松江郷土館開設 8月 第1回松江温泉お湯かけ地蔵まつり開催 9月 小泉八雲没70年祭開催 10月 出雲玉作史跡公園オープン 11月 松江市緑地及び自然環境の保全に関する条例制定	
1975 (昭50)	沖縄海洋博開幕	1月 普門院、外濠地区を伝統美観地区に指定	

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1975 (昭50)	10月 中国縦貫道 吹田・落合開 通、新幹線博多 まで開通	3月 松江郷土民謡館移転開設	4月 松江市住居表示整備事業着手
		5月 普門院山門、土堀復元工事完成	7月 内陸工業団地造成完了
1976 (昭51)		4月 城山公園公社へ委託	1月 市の木、市の花シンボルマーク 制定
		5月 佐陀神能重要無形民族文化財指 定	1月 嫁島土地区画整理事業完成
		8月 松江だんだんスタート	
		8月 湖水導入、堀川浄化スタート	
1977 (昭52)		11月 観光タクシー発足	10月 総合体育館完成
		3月 出雲玉造資料館完成	2月 国鉄高架運転開始
		3月 玉造跡重要文化財指定	
		7月 忌部自然休養村完成	5月 湖北農道(松江・平田)完成
1978 (昭53)	5月 新東京国際空 港(成田)開港	秋鹿大餅さん復興	10月 中村市長就任
1979 (昭54)		12月 高架下に観光案内所移転	10月 スポーツ都市宣言
	6月 東京サミット 開催	1月 民謡館を松江名産センターへ公 社より譲渡	
		7月 武家屋敷内に休憩所開設	7月 島根国体(昭57)正式決定
1980 (昭55)	神戸ポートピア	11月 田部美術館開設	8月 出雲～東京航空便就航
		八雲誕生130年記念式典	10月 松江～東松江複線化開通
1981 (昭56)			11月 市政90周年記念式典
			9月 大海崎～大根島堤防開通
			10月 市庁舎別館竣工
			11月 出雲～東京便ジェット機就航
			4月 海洋センター開設
			4月 下水道一部供用開始
1982 (昭57)		5月 松江駅前再開発事業完成・ピノ 開店松江城天守閣修理	7月 くにびき大橋開通
		11月 美保神社重要文化財指定	8月 県道松江～加賀線開通
		2月 佐陀神社重要文化財指定	
		3月 嫁ヶ島護岸工事完成	
			4月 国道431・432号線昇格

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1982 (昭57)	6月 東北新幹線開通	5月 直政公ミニチュア完成	6月 第3次松江市総合計画策定
		9月 松江駅コンコース内に観光案内所開設	8月 県道上乃木・菅田線、市道嫁島公園線開通 9月 くにびき国体夏季大会開催 10月 湖南大型農道開通
1983 (昭58)	11月 上越新幹線開通 3月 中国縦貫道全線開通 石見西部大水害	11月 レークガーデン廃止	
		3月 武家屋敷大改修完成	9月 64年全国菓子博覧会開催決定
1984 (昭59)	10月 小泉八雲旧居大修理完成 10月 松江城登閣料を入場料に変更	3月 NHK「日本の面影」放送	12月 出雲～福岡航空便就航
		4月 小泉八雲記念館改築、八雲80年忌	3月 テレトピアモデル都市指定 4月 総合福祉センター竣工
1985 (昭60)	7月 荒神谷遺跡から銅剣358本出土 科学万博つくば'85開幕	7月 興山荘美術館開設	
		9月 第1回八雲忌全国俳句大会 9月 嵩山登山歩道・駐車場・あずまや完成	10月 国勢調査で人口14万人突破
1986 (昭61)	国鉄民営化	3月 塩見縄手無電柱化事業完成	5月 総合文化センター開館
		5月 ホーランエンヤ16年ぶりに挙行	7月 東工業団地造成工事着工
1987 (昭62)		8月 松江観光タクシー協議会設立	
		9月 松江文化観光施設懇談会設立	
1986 (昭61)		11月 小波キャンプ場管理棟完成	
		5月 松江観光協会、全国京都会議に加盟	
1987 (昭62)		5月 菟古館完成	
		7月 松江観光協会、堀川ボート実施	
1986 (昭61)		8月 「松江の旅」・「松江・文学への旅」出版（協会・会議所）	
		8月 山陰路観光キャンペーン事業実施	
1987 (昭62)		11月 松江市観光善意通訳制度発足	12月 松江キャプテンサービス開始
		2月 松江観光協会、坂出市観光協会と縁組み	
1987 (昭62)		7月 山陰路観光キャンペーン、パートII実施	
		8月 松江・宝塚姉妹都市20周年記念事業	8月 松江日本語・日本文化夏季講座開催
1987 (昭62)		8月 再生された松江水郷祭の実施、宍道湖遊覧船の就航	

年次	社会の動き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1987 (昭62)		10月 歴史民族資料館開館 10月 シルバー観光ガイド制度発足 10月 松江・出雲国際観光モデル地区に指定される(初代会長松江市長) 12月 武家屋敷長屋門・土塀・庭園整備工事完成	
1988 (昭63)		1月 武家屋敷長屋門復元工事完了一般公開 2月 パーキングマップ発行(商工会議所) 3月 島根原子力館オープン 3月 八雲の書簡他購入(松江市) 3月 英文観光ガイドブック「ALONG THE SANIN」出版 4月 宍道湖北岸に湖畔照明完成 4月 グッドウィルガイドにホームステイ部会発足 5月 イラン・イラク戦争停戦 6月 松江ホテル旅館連絡協議会発足 7月 第1回忌部高原まつり開催 8月 旧松江藩松平家14代当主松平直國氏死去 9月 ソウル五輪 9月 京橋改修 9月 松平直政公入府350年記念展開催(松江郷土館) 10月 昭和天皇ご病氣(イベント式典の自肅相次ぐ) 10月 小泉八雲旧居当主、根岸啓二氏死去 11月 鑿行列中止 11月 松江L C堀川へ錦鯉放流(1000匹) 11月 神魂神社36年ぶりの遷宮 12月 東京大学より松江市に八雲愛用の本箱寄贈 12月 J R松江駅前タクシーシェルター完成 12月 出雲・松江～東京高速バス運行開始	6月 テレコムプラザ松江設立 7月 松江市斎場竣工(大庭町) 8月 松江市農業協同組合誕生
1989 (平元)	昭和天皇崩御 4月 消費税スタート 6月 中国、天安門事件	3月 京店水鳥公園オープン 4月 市制百周年記念式典 4月 市制百周年宮行列 4月 市制百周年鑿行列 4月 第21回全国菓子大博覧会 5月 大相撲松江市長賞(シジミ1t)提供開始 5月 松江市観光基本計画答申 6月 観光ビデオ「さらば英語教師」完成	11月 上乃木菅田線檜山トンネル開通 4月 百周年記念「松江市誌」発刊

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1989 (平元)		7月 旧出雲街道沿線市町村連絡協議会発足 (津山市)	10月 石倉孝昭第10代市長に就任
1990 (平2)	10月 東西ドイツの統一	1月 松江ライオンズ内堀浄化実験 2月 第1回ふるさとウォッチング実施 (市立女子高) 3月 松江城天守閣ライトアップ開始 3月 城山公園「さくら名所百選」に選定 3月 小泉八雲来日百年記念事業実行委員会発足	4月 鳥取市に住基台帳人口抜かれる
	4月 国際花と緑の博覧会開幕 (大阪) 6月 礼宮ご結婚、紀子さまブーム	4月 観光タクシー研究会発足	6月 斎藤強氏市民葬 6月 松江堀川「ふるさとの川モデル事業」整備計画決定
	湾岸戦争	7月 松江城天守防災設備完成 8月 小泉八雲来日百年記念特別展 8月 小泉八雲来日百年記念式典 8月 小泉八雲胸像除幕式 8月 小泉八雲シンポジウム・国際比較文学会等	7月 松江日本語日本文化夏季講座 8月 宍道湖北岸浸水護岸工事完成
1991 (平3)	2月 東京都新庁舎完成		10月 アマサギ不漁 10月 モロゲエビ豊漁 11月 シラウオ不漁 11月 梅謙次郎顕彰碑除幕式 2月 若槻礼次郎元首相誕生地石碑建立除幕式 2月 工科系大学設置促進期成同盟発足 3月 国道9号松江道路開通 3月 川津幼稚園竣工式
1991 (平3)	5月 長崎県雲仙・普賢岳噴火	4月 マリンゲート島根完成 4月 マリンハウス加賀完成	5月 協同組合松江流通センター創立総会 6月 中国横断自動車尾道松江線建設促進期成同盟会総会 7月 プラバ住民票サービスコーナー設置
	9月 台風19号島根県を直撃	10月 出雲路広域観光連絡協議会設立総会 (4市14町1村) 10月 松江国際文化観光都市建設法制定40周年記念式展	

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1991 (平3)		11月 観光立県推進地方会議	11月 市営白潟駐車場竣工 11月 日本文化デザイン会議 '91島根開催 11月 STIC (生涯学習センター・テレコムプラザ松江) オープン 12月 第4次松江市総合計画策定
1992 (平4)	12月 ソ連邦解体	4月 観光施設入場料改定 4月 出雲街道飛脚便訪問 (津山から)	5月 乃木小学校竣工 5月 汽水湖研究センター設置 5月 松江市国際交流会館オープン記念式典 6月 川津公民館竣工
	9月 毛利衛さんスペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ	10月 松江ふるさと物産館 (東京中央郵便局)	10月 在宅福祉サービスセンターデイホームちどりオープン 10月 第5回全国スポーツレクリエーション祭
1993 (平5)	1月 釧路沖地震 (震度6)	1月 松江・味クエスト松江グルメ祭 4月 隠岐航路レインボー就航 4月 ふるさと森林公園オープン	1月 堀川浄化を考えるフォーラム 3月 国道9号線バイパス東津田工区開通 4月 湖東中学校開校
	6月 皇太子徳仁親王御成婚	10月 しまねExpo '93開催	7月 北海道南西沖地震 10月 国道431号線川津バイパス開通 10月 くにびきメッセオープン 10月 宮岡寿雄11代市長に就任
1994 (平6)		4月 観光課2係体制設置 4月 中国牡丹園オープン 5月 「釣りバカ日誌」ロケ (~6月) 7月 松江・隠岐・島根半島周辺観光連絡協議会発足 8月 宍道湖・松江堀川・水と緑のフェスティバル	1月 松江温泉バスターミナル周辺緑化事業完成 3月 千鳥橋架け替え 3月 ニューオリンズ市と友好都市提携 4月 湖北中学校開校 4月 かんべの里開館 5月 第13回「全国城下町シンポジウム」 8月 松江商工会議所創立百周年記念事業 9月 全国レクリエーション大会島根大会 10月 ワカサギ不漁
	9月 関西国際空港開港	10月 国際会議観光都市に指定	

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1994 (平6)		11月 新泉源掘削事業開始	11月 北惣門橋架け替え 11月 シラウオ不漁 12月 スーパーやくも運行
1995 (平7)	1月 阪神・淡路大震災 3月 地下鉄サリン事件	8月 ぐるっと松江レイクライン運行開始 8月 「バスガイド愛子」ロケ	1月 大橋川北岸に柳並木が復活 2月 アイルランド大統領が来松 4月 白潟小学校と朝日小学校を統合し、中央小学校開校 8月 中学生海外派遣交流事業(アメリカ・ニューオリンズ市) 10月 第8回全国健康福祉際島根大会開催 10月 市政広報誌「グラフまつえ」創刊
1996 (平8)	7月 O-157大量感染 7月 出雲-札幌便就航 10月 加茂町の加茂岩倉遺跡大量の銅鐸発見	11月 松江温泉新泉源湧出 3月 メテオプラザオープン 4月 来待ストーン完成 7月 ぐるっと松江レイクライン3台目増車 7月 第1回天平古道スタンプラリー開催	
1997 (平9)	3月 中国・四国横断自動車道全線開通 4月 消費税5%に 4月 出雲～沖縄便就航	11月 藝行列・時代行列開催 4月 ぐるっと松江レイクライン4台目増車 4月 パーク&ライドシステム導入(くにびき駐車場、城山西駐車場) 4月 '97食博覧会・大阪に出展 5月 大河ドラマ「毛利元就」展開催 5月 松江城山稲荷神社式年神幸祭(ホーランエンヤ)開催 5月 第5回地域伝統芸能全国フェスティバル開催 5月 旅フェア '97に出展 6月 市内観光専用ホームページ開設	2月 松江市文化協会発足 2月 市営バス南北循環線、南北直通路線運行開始 4月 松江市東京事務所が独立 4月 カラコロ広場オープン1周年記念イベント開催 5月 松江市・宝塚市姉妹都市提携30周年記念式典 6月 天平古道スタンプラリー実施

年次	社会の動き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1997 (平9)	7月 中国、香港返還	7月 大庭空山展望台完成	7月 松江南消防署完成
		7月 古代出雲文化展開催・風土記の丘周遊バス運行	
		7月 山陰・夢みなと博覧会開催	
		7月 ぐるっと松江堀川めぐり就航	
		7月 お化けに親しむ夏の一夜開催	
		8月 神話の国めぐりツアー開催	
		8月 語りの夜なべ松江開催	
		8月 毛利元就歴史紀行展開催	
		9月 組み立て式鑿太鼓完成	9月 ノンステップバス導入
		10月 尼子浪漫バス運行	9月 松江ファミリーサポートセンター活動開始
		10月 名月と邦楽のタペ開催	9月 小泉八雲の幼少期の勉強机が寄贈される
			10月 情報公開窓口の設置
			10月 国際交流フェア開催
			10月 ニューオリンズジャズバンド来松
		11月 茶処松江庭園とお茶席めぐりバス運行	10月 宍道湖でシジミ大量死
		11月 堀川遊覧船にこたつ舟登場	11月 名誉市民平塚運一氏死去
		11月 新・市内観光パンフレット「水の都」作成	11月 ワールドインポートフェア開催
		11月 グリーンステラ完成	
		12月 松江市長が初めて観光トップセールスを行なう	12月 松江-米子空港直行バス運行開始
	12月 見たい、食べたい、ふれあいたい山陰・松江・夢三昧(京都)に共催	12月 市庁内16課に英語標記導入	
1998 (平10)	2月 米子道路・安来道路開通	1月 宍道湖七珍料理コンテスト開催	1月 平塚運一追悼展開催
		1月 '98島根ふるさとフェアに出展	1月 これでいいのか古都松江シンポジウム開催
		1月 運輸省の観光地づくりモデル事業・モデル地区に松江市が指定される	
		2月 四国地区への観光キャラバンに初めてレイクラインを利用して訪問する	2月 「玄丹そば」登場
		3月 嫁ヶ島黒松(それぞれ樹齢80年・150年以上)伐採	2月 松江市デザイン委員会設立
			3月 第1回松江市民文化展開催
			3月 市営バス、一畑バス、日の丸バス共通バスカード発行
			島根県の平成9年の観光客数が過去最多の2千80万人を記録する
		4月 松江市交通観光振興公社設立	4月 山代二子塚古墳に「ガイダンス山代の郷」開館
	4月 明石海峡大橋開通		4月 JR木次線トロッコ列車運転開始
	5月 矢田観光船就航	5月 千手院しだれ桜が松江市文化財に指定される	

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1998 (平10)		5月 堀川遊覧船乗客数10万人達成 5月 松江観光協会会長に初めて民間から皆美健夫商工会議所会頭が選ばれる 6月 第1回松江地域観光地づくり推進協議会が開かれる 6月 時代劇「隠密奉行朝比奈」の山陰ロケが行われる 7月 堀に山口県宇部市より譲り受けた白鳥が放たれる 7月 隠岐汽船高速船「レインボー2」就航 7月 松江夜景～夏の夜のにぎわい開催 7月 堀川遊覧船就航1周年、乗客数13万人を記録、屋根付き船登場 7月 お化けに親しむ夏の一夜開催 7月 松江観光協会が観光プロデューサーを全国公募する	6月 イギリスのBBCスタッフが小泉八雲の特集番組作りのため松江市を訪れ取材 6月 松江-広島高速バス直行便が2往復増便となる 7月 風土記の丘整備基本計画策定委員会設立
1998 (平10)		7月 マリンプラザしまね完成 8月 ぐるっと松江レイクラインが運行3周年を迎え、乗客43万人を突破する 9月 松江市観光地樹木保護委員会発足 9月 「八雲立つ風土記の丘ガイドの会」が結成される 9月 山村美紗サスペンス「京都・出雲殺人事件」のロケが行われる 9月 「語りの夜なべ松江」開催 10月 松江城本丸フェスティバル開催 10月 尼子浪漫バス運行 10月 ぐるっと松江レイクライン乗客50万人達成 11月 松江市観光ボランティアガイドが33名のメンバーで活動を開始する 11月 「松江・出雲国際観光モデル地区推進協議会」が、島根・鳥取・岡山・香川・高知が外国人観光客誘致のための広域観光ルートとして国から指定されたことを受け、「松江・出雲国際観光テーマ地区推進協議会」となる	8月 松江市立病院建設地から出土した田和山遺跡の現状保存をめぐり、学識者らが「田和山遺跡を考える会」を設立 8月 高速船レインボーの乗客100万人達成 9月 松江市文化観光施設誘致条例が松江市議会で可決される 9月 松江市観光案内所で英語ガイドの出来る職員を常駐させる 9月 松江市交通局が新型観光バスを導入 10月 松江温泉駅と出雲大社駅を直線で結ぶ「出雲大社号」が運行開始 10月 ニューオリンズより5作家が来松し、交流工芸展が開催される 10月 市在住外国人懇談会が開催される 11月 宍道湖畔環境整備計画を前に島根県が県民参加型のワークショップを実施 11月 第1回三都市（松江・高松・倉敷）交流音楽祭開催 11月 韓国・晋州市物産展開催

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1998 (平10) 1999 (平11)	4月 とっとり花回廊オープン 8月 国旗国家法が成立トルコ大地震 (M7.8)	1月 松江観光協会・観光プロデューサーに永井努氏が就任 1月 松江・出雲パーフェクトチケットが発売開始 2月 高松へ観光キャラバンを派遣 2月 「こいまち」ロケ行われる 2月 松江市で高松との物産と観光展が行われる 2月 堀川遊覧船が「毎日・地方自治大賞最優秀賞」に選ばれる 3月 堀川遊覧船の写真入りエコはがきが発売される 3月 島根県立美術館開館 3月 堀川遊覧船が31日現在で乗客20万人を突破 3月 日本観光協会、松江市観光ガイドブックを発行 4月 秋鹿なぎさ公園オープン 松江・堀川地ビール館オープン 5月 県立美術館にて日展開催 観光文化課のホームページに「松江百景」開設 6月 山陰路観光キャンペーン推進協議会、初の両県観光マップ作成 7月 お化けに親しむ夏の一夜開催 堀川遊覧船、夕涼み船登場 堀川遊覧船40万人突破 7月 天守閣の入場時間延長 9月 松江観光協会おもてなしの心月間 まちあるきツアー開始 9月 観光ボランティアガイド養成講座始まる 10月 松江観光協会、松江得々パスポートを発行 堀川遊覧船50万人突破 国際観光シンポジウム (主催：日本観光協会・国際観光振興会) 開催 堀川遊覧船、月間乗船客初の45,000人台 11月 南櫓124年ぶりに復元完成 カラコロ広場にツリーのイルミネーション登場	12月 ショッピングバス運行開始 1月 松江市交通局・一畑電鉄が、米子-多伎広域周遊券を発売 1月 ニューオリンズジャズ in 松江開催 1月 時差通勤実験実施 2月 地域振興券を配布 2月 「オムニバスタウン」に指定される 3月 市制110周年記念郷土作家展開催 5月 まほろばガイドの会、風土記の丘周辺案内パンフ作成 6月 松江市のHPで市長の記者会見などが掲載されるようになる 7月 北公園ミニ遊園地オープン 天神町ふれあいプラザ・交流館オープン 宍道湖のシジミ激減 (過去10年間で最低に) 8月 おかげ天神除幕 9月 第1回市民文化大学入学式 美術コース・音楽コース 松江八東広域行政研究協議会発足 10月 環境フェスティバル開催 松江都市デザインフォーラム開催 中国郵政局が松江市制110周年を記念して、島根県の風景画の絵入りはがきを発売 11月 ニューオリンズジャズ来松 吉林市歌舞団公演 全国マルチメディア祭開催

年次	社会の動き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1999 (平11)		11月 堀川ふれあい広場トイレ、日本トイレ協会が制定する「グッドトイレ10選」に入賞 観光シンポジウム「おもてなしの心・松江」開催 (松江観光協会主催)	市制110周年記念写真集 11月 松江市制110周年記念式典 吉林市、晋州市と友好都市提携 文学ルート形成推進協議会設立 玄丹そばが市内各店のメニューに加わる 「OECD都市政策セミナー」松江で開催
	12月 中国、ポルトガル領マカオ返還	12月 県立美術館50万人突破	
2000 (平12)		1月 松江城天守閣にて初日の出イベント実施 1月 レイクラインで七福神初詣コース実施 1月 正月三が日の観光客前年に比べ6割増になる 1月 ハッピーマンデー効果で三連休の観光客が前年に比べ2.3倍になる 2月 堀川遊覧船乗船者に防寒用のベストの貸し出しサービスが始まる 2月 「観光ワーキングセミナー」(日本観光協会主催) 始まる 2月 観光情報発信用のCD「水の都」発行	1月 広域行政組合が「四季の花暦」を発行 2月 島根景観大賞に、県立美術館、岸公園が選ばれる 市民ロビーで、吉林市、晋州市のパネル展を実施 晋州市に交流団を送り、松江市展を開催
	3月 北海道の有珠山噴火	3月 「都市観光サミット」開催 3月 サインシステム事業(市内43ヶ所への観光案内板の設置)が完了	3月 「松江フォーゲルパーク」着工 松江市民文化大学1期生卒業
	6月 韓国・北朝鮮の南北首脳会談	5月 松江・隠岐ふるさと観光物産展(東京・新宿郵便局)	4月 松江駅前地下駐車場供用開始 介護保険制度スタート カラコロ工房オープン 「松江テルサ」オープン 5月 宮岡寿雄市長急逝
	9月 東海豪雨三宅島噴火続く(全島避難)		6月 松江駅前広場完成 6月 松浦正敬第12代松江市長に就任 9月 国が中海干拓本庄工区の中止を決定
	10月 鳥取県西部地震	12月 位置情報システムを活用した観光情報提供システム(ハンディナビ)実験	11月 国勢調査速報値で人口15万人突破(山陰の都市で初)
2001 (平13)	1月 21世紀の開幕を迎える小泉純一郎内閣発足	1月 「松平不昧公展」開催(東京松屋銀座本店)	

年次	社会の動き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2001 (平13)	3月 USJオープン	1月 松江市テーマ型観光推進協議会の発足	
		3月 武家屋敷にろう人形を設置	3月 山陰道 [安来～宍道] 開通
		3月 三次元映像のバーチャルリアリティ-松江観光情報CD-ROM「知られざる日本の面影」の作成	3月 交通局新局舎とバスターミナル完成
		3月 松江城3櫓完成、ライトアップ開始	3月 第5次松江市総合計画策定
		4月 二の丸櫓茶会を開催	
		4月 「生誕250周年大名茶人松平不昧公展」と関連行事開催 (県立美術館)	
		4月 松江ウォーターヴィレッジのルイス・C. ティファニー庭園美術館とイングリッシュガーデンがオープン	
		6月 堀川遊覧船乗船客100万人達成	
		7月 松江フォーゲルパークがオープン	7月 JR山陰線高速運転スタート
		8月 観光ループバス「レイクライン」乗客100万人達成	8月 田和山遺跡が国の史跡に正式指定
		9月 映画「白い船」松江ロケ	
		9月 きまち湯治村「大森の湯」オープン	
	10月 国際文化観光都市50周年で記念式典	10月 ソフトビジネスパーク島根オープン	
	10月 JR松江駅正面に松江国際観光案内所オープン		
	10月 観光交通案内システム「たびねっと松江」運用開始		
	10月 松江フィルムコミッション協議会が発足		
	11月 「まちあかり松江城散策路・夜間開園2001」のライトアップ実施		
11月 松江温泉の新名称が「松江しんじ湖温泉」に決定 (年間観光入込み客数500万人突破)			
2002 (平14)	2月 冬季オリンピック (ソルトレークシティー)	1月 松江フォーゲルパークで「オウム病」発生	12月 松江温泉駅新駅舎完成
		3月 松江フォーゲルパーク、花の施設 (センターハウス・水鳥池) を再オープン	12月 プラバホール、クリスマスイルミネーションが点灯
		3月 松江国際観光案内所内に茶室「去来庵」完成	3月 エコショップまつえオープン
			3月 松江テルサにからくり時計お目見え

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
2002 (平14)	5月 F I F Aワールドカップ (韓国・日本)	4月 「松江・出雲・隠岐グルメ街道殺人紀行」撮影	4月 カラコロ通り完成記念イベント 4月 大橋川コミュニティーセンターオープン
		5月 松江フォーゲルパーク、一部鳥の施設を除き全面開放	5月 松江・八東合併推進協議会設立
		5月 映画「白い船」山陰両県で先行上映	5月 まつえ市民環境大学開校 5月 第23回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)開幕
		6月 松江フィルムコミッション協議会のPRコーナーを商工会議所のHPに開設	5月 松浦市長が中華人民共和国へ公式訪問(銀川、杭州市)
		7月 松江フォーゲルパーク1周年記念イベント	7月 出雲～東京便が通年で一日5往復化
		7月 堀川遊覧船5周年記念	7月 カラコロFM局が開局 7月 松江市メールマガジン創刊 7月 宍道湖大橋4車線化拡幅工事が終了、供用開始
		8月 住民基本台帳ネットワーク運用開始	8月 映画「白い船」の歌碑完成 8月 市営バスのキャラクターマーク決定
	10月 ノーベル賞W受賞	9月 堀川遊覧／花嫁・花婿船が運航	9月 川向リサイクルプラザ(竹矢町)完成
		9月 山陰路観光キャンペーン「全国宣伝販売促進会議」開催	
		9月 宍道湖エコクルーズ運航	
		10月 松江地区観光客誘致推進協議会発足	10月 松浦市長、ドイツ、フランスを訪問 10月 松浦市長、イングリッシュガーデンを視察 10月 松江市産業交流団訪中(H14年度ミニLL事業・杭州市)
		11月 SL運行(山陰鉄道発祥100周年記念事業)	10月 出雲・松江～京都間高速バス「出雲阿國号」運行開始 10月 日英グリーン同盟2002記念植樹 11月 和久羅山登山道入口駐車場完成 11月 松江・八東合併協議会設置
12月 東北新幹線・盛岡～八戸区間開通	11月 神在月ツデーウォーク実行委員会設立		
		12月 市役所総合窓口センター設置 12月 山陰道松江西ランプと国道9号とを直結する県道松江木次線が開通 12月 県道三刀屋木次インター線の開通式	
2003 (平15)	2月 新型肺炎(SARS)が世界的に流行	2月 レイクラインの貸切運行開始	1月 中国・杭州市交流団来松
		2月 「椿咲く古都の冬まつり」	1月 バス優先システム導入
		2月 「まつえ暖談食フェスタ」開幕	2月 元禄の絵図発見(市内の民家)

年次	社会の動き	松江の動き		
		観光関係	その他	
2003 (平15)	3月 イラク戦争勃発	3月 松江大橋ライトアップ点灯式	3月 「光のマスタープラン」策定	
		3月 「第1回神在月ツーデーウォーク」PR大会開催	3月 「松江市男女共同参画推進条例」制定・施行	
	5月 個人情報保護法が成立	4月 (社)日本観光協会主催の第10回「優秀観光地づくり賞」にて、全国初の「金賞国土交通大臣賞」と「国際観光賞」をダブル受賞	3月 松江第五大橋道路、都市計画道路城山北公園線が都市計画決定	4月 「松江市ニュースポーツ公園」完成
		6月 忌部自然休養村にて、「菜種まつり」開催	4月 「松江しんじ湖温泉駅」に新しいバスターミナル、足湯が完成	4月 「松江しんじ湖温泉駅」に新しいバスターミナル、足湯が完成
		7月 山陰両県で「ディスティネーションキャンペーン」を実施(9月末まで)	5月 天神町商店街の街路灯が(社)照明学会の「平成14年度照明普及賞(優秀施設賞)」受賞	5月 天神町商店街の街路灯が(社)照明学会の「平成14年度照明普及賞(優秀施設賞)」受賞
		7月 寺町に「松江藝伝承館」完成	6月 老舗旅館「大橋館」がJTBの2002年度「サービス最優秀旅館ホテル賞」を受賞	6月 老舗旅館「大橋館」がJTBの2002年度「サービス最優秀旅館ホテル賞」を受賞
		8月 カラコロ工房にものづくり体験館「匠庵」がオープン	7月 JR松江駅前に「まちかどバス案内人」設置	7月 JR松江駅前に「まちかどバス案内人」設置
		10月 松江市などが舞台となった映画「アイ・ラブ・ピース」完成、上映スタート	8月 住民基本台帳ネットワークシステムの第2次サービスがスタート	8月 住民基本台帳ネットワークシステムの第2次サービスがスタート
		10月 「松江水燈路」開催	10月 浜田市開催の「第23回全国豊かな海づくり大会」ご列席に伴い、天皇皇后両陛下が松江市を行幸啓される	10月 浜田市開催の「第23回全国豊かな海づくり大会」ご列席に伴い、天皇皇后両陛下が松江市を行幸啓される
		11月 松江祭藝行列にあわせ、「武者行列」開催	10月 中国・杭州市と「友好交流協定」締結及び「松江市杭州事務所」開設	10月 中国・杭州市と「友好交流協定」締結及び「松江市杭州事務所」開設
		11月 「第1回神在月ツーデーウォーク」開催	10月 鹿島多久の湯オープン	10月 鹿島多久の湯オープン
		11月 観光PR用「松江観光カレンダー」を発行		
12月 スダジイ県天然記念物指定				
2004 (平16)	12月 イラクでフセイン元大統領を拘束	12月 松江フォーゲルパークオウム病調査委員会の調査報告書が市長に提出される	12月 松江フォーゲルパークオウム病調査委員会の調査報告書が市長に提出される	
		2月 「市花制定30周年記念第14回全国椿サミット松江大会」開催	2月 JR松江駅バリアフリー化工事(エスカレーター・エレベーター・自動ドア設置)竣工	
		3月 松江フォーゲルパーク年間パスポート販売開始	3月 松江・八束合併協定書調印	
			3月 JR松江駅高架下に「松江こだわり市場」開設	
		5月 中国横断自動車道尾道松江線(島根県側)杭打式	5月 中国横断自動車道尾道松江線(島根県側)杭打式	

年次	社会の動き	松江の動き		
		観光関係	その他	
2004 (平16)	6月 イラク暫定政権発足	6月 「堀川遊覧船」乗船客200万人達成	6月 アグリパーク竣工	
		7月 松江フォーゲルパーク「鳥とのふれあい施設」再開	7月 製造業の振興を狙い、産業プロデューサー新設	
		7月 新松江市誕生の総務大臣（官報）告示	7月 「中国04総体」開催	
	8月 夏季オリンピック（アテネ）	9月 小泉八雲没後100年にちなみハーソン100年祭開催	9月 中国銀川市と友好都市提携	
	10月 新潟県中越地震発生	10月 旅行会社、地元地権者らによる「松江しんじ湖温泉」再生の検討会発足	10月 八束町と境港市を結ぶ江島大橋開通	
	12月 スマトラ沖地震発生	12月 「縁結びの地・出雲路」をテーマに出雲路広域観光連絡協議会として東京でPRイベント開催	12月 国土交通省「大橋川改修計画案」公表	
	2005 (平17)	8月 宮城県沖地震発生	3月 松江八束8市町村が合併。新松江市誕生	
			4月 観光文化プロデューサーに高橋一清氏就任	
			4月 マリンパーク多古鼻完成	
			4月 第1回玉造アートフェスティバル開催	
			5月 出雲路広域観光連絡協議会を解散し「神話の国縁結び観光協会」を設立	
			6月 観光振興部を新設	
6月 中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会発足				
7月 松江市・中国杭州市旅行社商談会開催			7月 異常気象～11年ぶりの渇水被害から一転、局地的豪雨災害の発生	
			7月 高速船レインボー加賀航路廃止	
			9月 訪日団体旅行客受入促進事業補助金施行	
2006 (平18)		10月 島根の食 屋台村IN玉造開催	10月 平成17年国勢調査実施（人口20万人達成ならず）	
		12月 杭州ジャパンフェスタ出展	11月 宍道湖と中海が第9回締約国会議でラムサール条約に同時登録	
		12月 犬夜叉松江探訪ツアー開催		
		2月 観光PRイベント「まつえ『縁結び』inお台場」開催		
		4月 山陰デスティネーションキャンペーン開催	4月 鳥取市との人事交流開始	
		4月 パリ牡丹祭り開催		
			6月 長山洋子「松江舟唄」全国発売	

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
2006 (平18)	7月 北朝鮮によるミサイル発射実験	8月 縁結び祈願「松江の旅」 inお台場 9月 第1回縁結びラヴソングコンテスト開催 9月 松江水燈路期間延長開催 10月 「松江開府400年祭推進協議会」事務局開設 10月 松江ルネッサンス開催	7月 34年振りの大水害～豪雨災害の発生 11月 松江市市民憲章制定記念式典開催
2007 (平19)	7月 石見銀山遺跡世界遺産登録 7月 全国高総文祭しまね '07	3月 松江市観光振興プログラム策定 4月 松江開府400年祭開幕 4月 松江イングリッシュガーデンリニューアルオープン 4月 宍道湖夕日スポットオープニングイベント 5月 クイズ松江検定「松江ものしり博士」決定戦 開催 7月 堀川遊覧船乗客300万人達成	8月 世界陸上 アイルランド選手団事前合宿 9月 9月議会において 松江市総合計画議決 10月 松江市・宝塚市姉妹都市提携40周年記念式典
2008 (平20)	4月 後期高齢者医療制度開始 8月 夏季オリンピック(北京) 9月 NHK連続テレビ小説「だんだん」放送開始	8月 日本発の夕日予報宍道湖の夕日週間予報開始 8月 第1回 松江観光文化検定試験 9月 松江開府400年祭 シンボルイベント「お茶と和菓子のフェスタ」開催 11月 第3回八雲国際演劇祭 11月 松江フォーゲルパーク入場者150万人達成 1月 坂東三津五郎氏観光文化夢大使に任命 4月 「きまち湯治村 大森の湯」入浴者100万人達成 6月 NHK連続テレビ小説「だんだん」松江ロケ 6月 ホーランエンヤPR看板設置 8月 NHKのど自慢開催 9月 松江開府の径ウォーク 9月 松江開府400年祭記念「松江城薪能」開催	4月 松江市水道施設「国有形文化財」に登録 6月 松江市水道通水90周年 6月 ひとにやさしいまちづくり条例制定 6月 伊吹友里「好きだから松江」発表(イングリッシュガーデン) 8月 オリンピックアイルランド選手団事前合宿

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
2008 (平20)	10月 観光庁発足	9月 松江的ジャポニズム「お城・お菓子・だんだん縁遊会」開催 10月 「鹿島多久の湯」入浴者100万人達成 10月 観光バリアフリーモニターツアー実施 11月 夕日サミットin松江開催 11月 宝塚歌劇団星組松江公演開催	10月 日中友好交流書画展開催 10月 佐陀川大橋渡り初め 10月 松江市原子力防災訓練実施 12月 松江テルサ前「水のモニュメント」完成
2009 (平21)	1月 オバマ米政権が発足 3月 ETC割引スタート 5月 新型インフルエンザ流行 6月 DBS就航 8月 民主党が政権交代 8月 初の裁判員裁判が開催	1月 宍道湖しじみ館オープン(31日) 5月 ホーランエンヤ開催 8月 「松江城を国宝にしよう市民の集い」開催 8月 松江・境港・隠岐観光振興協議会発足 9月 「松江城を国宝にする松江市議会議員連盟」設立 9月 「松江城を国宝にする市民の会」設立 10月 お城サミット開催 10月 佐陀神能特別観賞会 11月 松平直政公ブロンズ像再建 11月 舞台版 連続テレビ小説「だんだん」公演開催 11月 文部科学省副大臣に8都市で国宝化の陳情	3月 だんだん商品券販売 4月 境港市との人事交流開始 5月 松江テルサ前「ギャートルズブロンズ像」完成 11月 松江市制120周年記念式典開催
2010 (平22)	3月 島根原発で点検漏れ 5月 上海万博開幕 6月 サッカー南アW杯開幕	4月 だんだん舞台セットを活用したそば屋開設(16日) 6月 松江イングリッシュガーデンでローズライトフェスティバル開催(4, 5, 11, 12日) 6月 完全復元伊能図全国巡回フロア展開催(24~27日) 6月 第9回全国藩校サミットin松江開催(26日)	4月 松江開府の径之碑除幕式(3日) 5月 映画「RAILWAYS」公開 6月 小泉八雲生誕160年祭開催(27日)

年次	社会の動き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2010 (平22)	6月 高速道路無料化 実験開始 (28日) 8月 チリ落盤事故 10月 「スサノオ」 bjリーグ参戦	7月 堀川遊覧船乗客400万人達成 (17日) 10月 全国おでんサミットin松江開催 (2,3日) 10月 松江城の国宝指定を求める署名 簿を国に提出(6日) 10月 松江城天守でオープン・マイン ド・オブ・ラフカディオ・ハーン 開催(10日~11月14日)	10月 松江市男女共同参画都市宣言 (16日)
2011 (平23)	11月 尖閣沖で中国 漁船衝突事件 1月 年末年始記録的 大雪(雪害) 3月 東日本大震災 6月 高速道路無料化 実験終了 (19日)	11月 「ゴンベの里」誕生祭開催 (13日) 3月 松江歴史館オープン(19日) 3月 松江開府400年記念博覧会開始 (19日) 10月 松江大綱引き大会開催(2日) 11月 佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登 録決定(27日) 12月 松江開府400年記念博覧会終了 (4日) 12月 松江開府400年祭フィナーレ (25日)	8月 松江市・東出雲町合併
2012 (平24)			2月 松江市・尾道市姉妹都市協定(5日)

6. 松江市観光関係事業補助金など

松江市観光関係事業補助金交付要綱

平成24年1月1日現在

補助金等の名称	補助金交付の目的	補助金等の対象である事務又は事業の内容		交付の率又は金額	終期	補助事業者等の範囲
松江市藝行列振興対策事業補助金	本市の伝統行事「藝行列」の振興発展を図ることを目的とする	藝行列の振興発展に関する事業に要する経費	直接事業経費	市長の定める額	平成24年3月31日	松江市藝行列保存会
		藝保存庫の新設、改築又は修繕に要する経費	工事費については敷地の購入又は借地に要する費用並びに新設予定地の既存建物を除去するために建物を解体移転に要する費用については補助金算出の対象としない	工事（制作）費の100分の30以内とする。但し補助金の限度額は最高100万円までとする。	平成24年3月31日	町内自治会等の藝保存組織
		藝又は藝台の新調又は修繕	直接事業経費			
松江市観光振興対策事業補助金	本市の観光事業の振興を図ることを目的とする	社団法人松江観光協会の運営及び事業に関する経費	一般管理経費 直接事業経費	市長の定める額	平成24年3月31日	社団法人松江観光協会
		東出雲町観光物産協会の事業に関する経費	直接事業経費			東出雲町観光物産協会
		財団法人松江市観光開発公社の運営及び事業に関する経費	一般管理経費			財団法人松江市観光開発公社
		ぼたんバス運行に関する経費	八束町ぼたんバス運行経費			
		玉湯川の美化活動の推進に関する経費	直接事業経費			玉湯町河川愛護団体
		美保関町の観光振興の推進に関する経費	直接事業経費			美保関地域観光振興協議会
松江しんじ湖温泉振興対策事業補助金	本市の観光事業の振興を図ることを目的とする	①街路灯	10灯以上の新設改良で商業広告の無いもの	工事費300万円以上とし、その3割以内	平成24年3月31日	松江しんじ湖温泉振興協議会 松江しんじ湖温泉旅館協議会
		②歓迎アーチ	新設改良で商業広告の無いもの	工事費700万円以上とし、その3割以内	平成24年3月31日	
		③観光客誘致宣伝、温泉街の環境整備及び防火防災に関する事業に要する経費		市長の定める額	平成24年3月31日	

補助金等の名称	補助金交付の目的	補助金等の対象である事務又は事業の内容		交付の率又は金額	終期	補助事業者等の範囲
松江市祭行事等補助金	本市の観光事業の振興発展に寄与することを目的とする	水郷祭	直接事業経費	市長の定める額	平成24年3月31日	松江水郷祭推進会議
		松江水燈路	直接事業経費			松江ライトアップ・キャラバン実行委員会
		観光施設ライトアップ	直接事業経費			ライトフェスティバル実行委員会
		出雲玉造アートフェスティバル	直接事業経費			出雲玉造アートフェスティバル実行委員会
		神在月ツアーウォーク	直接事業経費			神在月ツアーウォーク実行委員会
		まつえ暖談食フェスタ	直接事業経費			まつえ暖談食フェスタ実行委員会
		市民大綱引き大会	直接事業経費			松江市民大綱引き大会実行委員会
		郷土行事	市長が必要と認めた郷土行事			財団法人松江市観光開発公社
		その他観光イベント行事	直接事業経費			その他市長が必要と認めた団体
松江市コンベンション振興補助金	本市で開催されるコンベンションの誘致を積極的に推進し、地域への経済波及効果を高めるもの	コンベンションの誘致に要する事務経費	首都圏、関西圏、中四国圏、九州圏、地元コンベンション主催者へのコンベンション、バス制度のPR業務及びJNTOに關わる国際会議誘致業務等	市長の定める額	平成24年3月31日	財団法人くにびきメッセ
松江市バリアフリー情報提供事業補助金	松江市を訪れた、又訪れようとしている障害などがある方に、市内のバリアフリー情報を一元化して提供し。また、旅のコーディネートを行うことを目的とする事業を行う事業者に対し、補助を行うことにより、新たな観光誘客を図ることを目的とする。	バリアフリー情報提供に要する経費	①松江市内の観光、宿泊施設及び交通機関のバリアフリー情報の収集 ②バリアフリー情報の提供及びPR、ホームページの作成 ③障害者及び高齢者の旅の受入れ及びコーディネート ④介護ボランティアの派遣 ⑤上記事業を行うための必要な業務	市長の定める額	平成24年3月31日	NP0法人プロジェクトゆうあい

補助金等の名称	補助金交付の目的	補助金等の対象である事務又は事業の内容	交付の率又は金額	終期	補助事業者等の範囲	
松江市コンベンション開催支援補助金	本市の人的交流の増加と国際化の進展及び文化の向上を図るとともに、コンベンション参加者が観光施設を周遊するための利便性を高めることにより、観光事業の振興発展に寄与することを目的とする	①コンベンションの開催に要する経費	会議、学会、大会等（コンGRESのものをいう）の催しで、次の要件をすべて満たすもの ①松江市内の施設等で開催されるもの ②中国地区以上の規模であるもの ③松江市内の宿泊施設で宿泊するものであって、その宿泊者が延べ100人以上であるもの ④営利を目的としないもの ⑤コンベンションの内容が次のいずれかに該当するもの （ア）学術、文化、芸術の振興に寄与するもの （イ）産業、経済の振興に寄与するもの （ウ）その他市長が認めるもの	市長の定める額	平成24年 3月31日	財団法人くにびきメッセ
		②コンベンション観光バスの運行に要する経費	「①コンベンションの開催に要する経費」の要件を満たす催しにおいて、市長の定めによるコンベンション観光バスを運行するもの	バス1台につき 54,600円		
		③大学等の合宿の開催に要する経費	大学、短期大学、専門学校等（島根県、鳥取県を除く）の学生のサークル等の合宿、研修等で、次の要件をすべて満たすもの ①松江市内の施設等で開催されるもの ②松江市内の宿泊施設で宿泊するものであって、その宿泊者が延べ100人以上であるもの	市長の定める額		

松江市コンベンション開催支援補助金制度

*対象コンベンション 松江市内での宿泊・開催

参加者数 (延べ宿泊者数)	中国地区	西日本地区	全 国	国際大会
100人以上 300人未満	60,000円	80,000円	100,000円	全国大会の全額に個人一人あたり5,000円を乗じた金額を加えた額とする。 限度額 3,000,000円 (6名以上の国外参加者が ある場合)
300人以上 500人未満	120,000円	160,000円	200,000円	
500人以上 1,000人未満	225,000円	300,000円	375,000円	
1,000人以上 2,000人未満	450,000円	600,000円	750,000円	
2,000人以上	600,000円	800,000円	1,000,000円	

*対象とならないもの ●営利を目的とするもの ●スポーツ大会・展示会・見本市
●宗教及び政治に関する目的で開催されるもの

*平成24年4月から、スポーツ大会においては、延べ宿泊数が300人以上であるものは対象となります。

歓迎看板・郷土芸能の提供制度

看板掲出場所 1. 会場入口 2. JR松江駅改札口
3. 出雲空港到着ロビー 4. 米子空港到着ロビー

規模	種類	中国地区	西日本地区	全国	国際
100人以上 300人未満	看板	2枚	2枚	2枚	4枚
	芸能	B	B	B	A
300人以上 500人未満	看板	2枚	3枚	3枚	4枚
	芸能	B	A	A	A
500人以上 1,000人未満	看板	2枚	3枚	3枚	4枚
	芸能	A	A	A	A
1,000人以上 2,000人未満	看板	3枚	4枚	4枚	4枚
	芸能	A	A又は海潮神楽	A又は海潮神楽	A又は海潮神楽
2,000人以上	看板	3枚	4枚	4枚	4枚
	芸能	A又は海潮神楽	A又は海潮神楽	A又は海潮神楽	A又は海潮神楽

芸能の種類	内 容	演奏時間	備 考
民謡 A	安来節唄と踊り、しげさ節踊り、関の五本松踊り、銭太鼓、どじょうすくいなど	30分程度	三味線1名、つづみ1名、唄2名踊り6名(計10名)
民謡 B		30分程度	三味線1名、つづみ1名、唄1名踊り2名(計5名)
海潮神楽		30分程度	大太鼓・唄2名、つづみ1名踊り等7名(計10名)

「松江市コンベンション観光バス」の運行

【対象】

- ・松江市コンベンション開催支援補助金の対象となるコンベンション
- ・松江市内で開催される中国地区規模以上で会期2日以上のもの（宿泊を要するもの）

【運行条件】

- ・松江市内の観光施設（有料施設のみ）を対象として、2施設以上コースに組み込むこと。ただし、「松江城」、「小泉八雲記念館」、「武家屋敷」、「松江フォーゲルパーク」、「明々庵」、「松江歴史館」のどれか1施設を必ず組み込むこと。
 - ・運行時間は1日4時間。1台あたり35人以上の利用者が必要である。
 - ・観光バスの運行台数は1団体3台。ただし、大会規模等により特別な場合はご相談ください。
- ④松江市外の観光施設への運行は対象外です。

【観光バスの予約】

- ・観光シーズン（4月～11月）3か月前から受付、1か月前の締め切り。
- ・オフシーズン（12月～3月）1か月前から受付、20日前の締め切り。

※施設入場料は個人負担です。

※観光バスを1日貸し切の場合は超過分のバス代が掛かります。

※コースプラン及びバスガイドをご要望される場合はご相談下さい。

平成23年版

松江市観光白書(資料編)

発行 平成24年3月

編集・発行 松江市観光振興部観光文化課

〒690-8540

松江市末次町86番地

TEL 0852-55-5214

FAX 0852-55-5634